



災害史



風水害履歴

愛知県は大雨、台風などによる浸水被害が大きく、近年ではゲリラ豪雨も頻発しており、たびたび被害を受けています。平成12年9月に発生した東海豪雨では、東海地方に記録的な大雨を観測し、大きな被害を受けています。愛知県に大きな被害を及ぼした主な風水害は、表のとおりです。

特に、本村を含む海部南部地域は、木曾川河口に広がる浅瀬を干拓した水田農村地帯です。そのため、地域全体が平坦で、いわゆるゼロメートル地帯と呼ばれる低湿地帯となっています。この地形は水害に対して極めて弱い弱であり、昭和34年の伊勢湾台風では、地形的な要因に加え、観測史上最大の高潮が暴風とともに来襲したことで、堤防が破壊され、人的・物的共に大きな被害をもたらしました。

年	種別 (要因)	被害の概要 ①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
1959年 (昭和34年)	暴風雨・高潮 (伊勢湾台風)	①台風と高潮による災害で伊勢湾を中心に県内全域の沿岸部に被害が発生した。 ②死者3,168人、行方不明92人、負傷者59,045人、住家の全壊23,334棟、流失3,194棟、半壊97,049棟、一部損壊287,059棟、床上浸水53,560棟、床下浸水62,831棟③県内全域(沿岸部中心)④約3,324億円
1976年 (昭和51年)	集中豪雨 (豪雨・台風17号)	①集中豪雨による災害で尾張、海部、知多に中小河川の氾濫などの被害が発生した。②死者1人、負傷者37人、住家の全壊8棟、半壊437棟、一部損壊461棟、床上浸水13,050棟、床下浸水102,677棟③尾張、海部、知多地域(59市町村)④約378億円
1998年 (平成10年)	暴風雨 (台風7・8号)	①台風8号が21日、第7号が22日と続いて上陸。8号は雨、7号は風による被害が大きかった。②交通網が大混乱し、農業被害も大きかった。死者3人、負傷者151人、住家の全壊8棟、半壊35棟、一部損壊661棟③県内全域④約33億円
1999年 (平成11年)	竜巻 (台風18号)	①台風18号の外側を取り巻く積乱雲が東海地方の南海上から県沿岸にかかり、4個の竜巻が相次いで発生した。このため、豊橋市では被災者生活再建支援法(法律第66号)が、平成10年11月6日に施行されて以来、本県で初めて適用となった。②負傷者453人、住家の全壊41棟、半壊311棟、一部損壊1,052棟③主として県東部④約21億円
2000年 (平成12年)	大雨 (台風14号・前線) 東海豪雨	①秋雨前線に台風14号からの暖かく湿った空気が多量に流れ込んだため、前線の活動が活発となり、愛知県を中心とした東海地方で記録的な大雨となった。このため、23市町村で避難勧告・指示を発令し、63,000人以上が避難し、21市町村で、災害救助法及び災害者生活再建支援法の適用がされた。また、この災害が激甚災害に指定、中小企業支援措置及び農地・農業用施設用支援並びに林道の災害復旧事業支援措置がなされ、旭町・稲武町(現:豊田市)が局地激甚災害(公共土木施設分)の指定を受けた。②新川をはじめ県内河川の破堤20ヶ所、越水319箇所、死者7人、負傷者107人、住家の全壊18棟、半壊154棟、一部損壊147棟、床上浸水22,078棟、床下浸水39,728棟③県内全域④約2,800億円

地震履歴

愛知県は、過去にしばしば大地震に襲われており、人的被害、建物の被害など大きな打撃を受けています。

1945年に発生した三河地震では死者の数は2,300人を超え、住宅では約24,000戸が全半壊の被害を受けています。また、1891年の濃尾地震でも、死者数2,600人を超えるとともに、住宅被害は全半壊約71,000戸にも及び、さらに濃尾平野の広範囲で液状化現象が発生するなど地震による被害はかなり大きいものとなっています。

愛知県に大きな被害を及ぼした主な地震は、表のとおりです。

年	マグニチュード	地震名	被害状況
1498年	8.6	明応地震 (海溝型)	渥美半島では地割れが発生し、同時に大津波が来襲、人家が倒壊し、死者が発生した。
1586年	8.2	天正地震 (内陸型)	木曾川河口で島の沈没や、建物の倒壊が多く、津波の被害も大であった。死者約5,000人。
1707年	8.4	宝永地震 (海溝型)	死者、建物倒壊、堤防決壊、津波襲来による被害も多く、液状化現象もみられた。
1854年	8.4	安政地震 (海溝型)	津波の被害が大であった。死者約60人。住宅全半壊約3,000戸。流出家屋約3,000戸。
1891年	8.0	濃尾地震 (内陸型)	尾張地方に甚大な被害をもたらした。濃尾平野の広範囲で液状化現象が発生した。死者2,638人。住宅全半壊約71,000戸。
1944年	7.9	東南海地震 (海溝型)	県下で大被害が生じた。各地で液状化現象が発生した。死者438人。住宅全半壊約26,000戸。
1945年	6.8	三河地震 (内陸型)	西三河地方を中心に大被害が生じた。死者2,306人。住宅全半壊約24,000戸。

